**平成２６年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針**

施設名：府立障害者交流促進ｾﾝﾀｰ(ﾌｧｲﾝﾌﾟﾗｻﾞ大阪)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価基準 | 評価委員の指摘・提言等 | 改善のための対応方針 | 次年度以降の事業計画等への反映内容 |
| ①施設の設置目的  （身体障害者福祉センターＡ型の機能）及び管理　運営方針 | ・施設の設置目的に沿った運営がなされているか | ・駐車料金導入により、障がいのない方の利用が大幅に減少する中で、平成26年度から２時間を無料にしたが、利用者は増えていない。利用者の状況を分析し、障がいのない方が積極的に利用したくなるような新たな提案や工夫が必要ではないか。例えば、回数券の導入や、魅力的な教室の開催など。  ・アーチェリー場が少ないこともあり、アーチェリーの利用者は増えているが、プールの利用者は減っている。プールの利用料１回600円は割高感があり、時間制の料金設定も検討すべき。 | （施設所管課）  ・障がいのない方の利用促進に向け、利用者の状況を分析し、料金設定のあり方等を検討する。  （指定管理者）  ・障がいのない方の利用促進につながるような、障がいのある方との交流型プログラムを検討する。  ・広報の強化・充実を行う | （施設所管課）  ・平成27年度内に検討。  （指定管理者）  ・平成27年度内に検討、平成28年度事業計画に反映 |
| ②平等な利用を図るための具体的手法・効果 | ・公平なサービス提供、対応 | ・点字版や英語版の施設案内を作成していることは評価できる。  ・高齢化が進む中で、認知症の方の運動機能を改善するような取組や、外国人の利用促進も検討する必要がある。 | （指定管理者）  ・障がいのない方の利用促進につながるような、障がいのある方との交流型プログラムを検討する。  ・広報の強化・充実を行う | （指定管理者）  ・平成27年度内に検討、平成28年度事業計画に反映 |
| ③利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | ・利用者増加のための工夫 | ・ファインプラザの障がい者スポーツのレベルは高く、競技会の結果等を定期的に広報することにより、障がいのない人への刺激にもなり、利用促進につながる。 | （指定管理者）  ・ファインプラザのホームページにおいて、障がい者スポーツの競技会の結果を掲載する。 | （指定管理者）  ・競技会の結果記録を掲載している情報誌「アベニュ  ー」をホームページ上に掲載。 |
| ④サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | ・魅力的なプログラムの開発 | ・利用者の意見に対する回答内容が、検討しますや、さらに強化しますなど、抽象的になっている。もう少し具体的に、どのように改善したのかということが分かるような回答を行うとともに、文字の大きさなども工夫すべき。  ・グランド側にある「会議室、研修室完備ご利用をお待ちしています」という札の文字が小さく明朝体のため、認識しにくい。工夫を施し、改善すべき。  ・パウチの状態での掲示の取組は、目の近くで見ることができ、いいアイデアである。遠くからでは見えにくいグラフや説明書きにも応用できれば、利用者に伝わりやすい。  ・総合案内の受付の横の意見箱には、人目に付きアンケートを入れにくいので、何か工夫はできないか。 | （指定管理者）  ・利用者の意見に対する回答を、より具体的に記載するとともに、パウチの状態での掲示などの配慮を行い、利用者への周知を図る。  ・グランド側にあるにある札の文字を大きくする。  ・総合案内の受付付近に、他の意見箱設置個所を明示する。 | （指定管理者）  ・平成27年度から実施。 |
| ⑤利用者への安全対策、施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度 | ・点検・補修の適格性、迅速性 | ・「ヒヤリ・ハット」の事例を挙げることだけではなく、何を改善しなければならないかということを検討すべき。  ・駐車場とグランドを20センチくらいのブロックで分けているが、万が一、車が暴走した場合に備え、例えば車が止まれるだけの棒をいくつか立てるなどの安全対策を検討すること。 | （指定管理者）  ・引き続き、職員会議の場で「ヒヤリ・ハット」の事例を検証し、改善事例を蓄積する。  ・駐車場とグランドとの間の安全対策について、グラウンド使用者の安全に配慮した構造物の設置等を検討する。 | （指定管理者）  ・平成27年度内に検討。 |